



学びをつなぐ幼小接続

～思考力の芽生えを育む保育を通して～

【主題設定の理由】

幼稚園では創造的な思考や主体的な生活態度等を培い、生きる力の基礎を育てている。これが小学校生活で主体的に自己を発揮し学びに向かう基礎となる。しかし、子どもの育ちを小学校につなげるために必要な幼小の相互理解が十分とは言えないのが現状である。

そこで、子どもの育ちや学びを幼小の教師間で共有し、滑らかな接続につなげたいと考え、本主題を設定した。

【研究のねらい・方向性】

滑らかな幼小接続を実現するために、小学校教科の土台となりうる視点「思考力の芽生えを育む保育」を手掛かりとしながら、幼稚園・小学校教育における子ども達の学びを教師間で共有し、日々の保育や授業の見直し・工夫につなげていく。

【研究の内容】

- ・（読み取り）遊びの中から捉える思考力の芽生えや各教科とのつながり
- ・（手立て）発達段階や興味関心に即し、主体的に遊びを展開するための環境構成及び援助
- ・（共有）幼児の学びと思考力の芽生えとの照応、及び、可視化による小学校との共有

①

研究の概要

幼小接続が目指すところ・思考力の芽生えとは？

②

実践事例

①に基づいた各年齢の学び

③

幼小接続は 何が大事？

交流活動の実際

滑らかな幼小接続実現の為に、「思考力の芽生えを育む保育」

① 研究の概要 幼小接続が目指すところ・思考力の芽生えとは

《 1 幼小連携会議で出された幼稚園・小学校の思い 》

◎ 幼稚園が小学校に求めていること

- ・子ども達が幼稚園で培った力を小学校でも発揮させてほしい
(※一人一人の良さを継承していく。)
- ・遊びは学びということを知ってほしい

◎ 小学校が幼稚園に求めていること

- ・聞く力、我慢する力（自ら我慢する力）
困ったことを自分の言葉で伝えられる力を育ててきてほしい
- ・時間に見通しをもって生活してほしい

《 2 目指したい姿 》



幼児期

学童期

青年期

【遊ぶって楽しい

学ぶって楽しい

生きるって楽しい】



《 3 接続のイメージ 》

このクワガタの名前は？
図鑑を使ってみよう！
調べる・共有したい



今日の授業はこんなことを
知りたい・学びたい

幼児期における
遊びの中での学び
学びの芽生え

【思考力】
2つの校種に共通の視点

小学校における
各教科の授業を通した学習
自覚的な学び

思考力の芽生えとは？

身近な事象に関わり、
様々な考えに触
れたり、考える
気付く・工夫する
予想する・判断する
自ら表現しようとする
新たな関心など
の芽生えが期待される



思考力 3つの視点 「思考」・「判断」・「表現」

(思考)
どうなっているのかな？
どうしようかな？
(判断)
いいこと思いついた
どちらだろう？
こうしよう！
(表現)
ねえ、見て見て
こうやってみたよ☆

を手掛かりとしながら、幼小の教師間で子ども理解を深める

② 実践事例 ①に基づいた各学年の学び

学年ごとの特徴と教師の援助

☆気付く・考える

シャボン玉動いてるね！

どうして？

シャボン玉
生きてるのかな？

風だ！

○共感によって広がる
「気付き」と「楽しさ」

☆気付く・考える・工夫する・新たな閃き

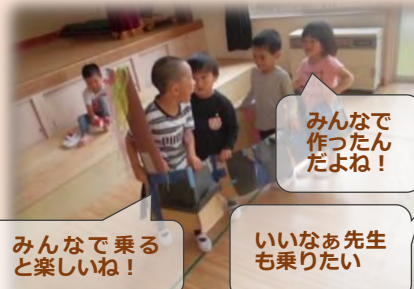
先生見て！掘った所に水が来たよ！

わあ、本当だ！
おもしろいね！

もっとやってみよう！

○受容によって育まれる「主体性」

☆気付く・工夫する・表現しようとする



みんなで乗る
と楽しいね！

みんなで
作ったんだよね！

いいなあ先生
も乗りたい

○楽しさの共有によって深まる
「仲間意識」

☆気付く・予想する・工夫する・

自ら判断する

ごぼごぼっていつてる！

僕達の自動流し
そうめん機
すご〜い！！

2人で考えたから面白いのができたね！

○新しい考えに出会って深まる
「興味・関心」

☆気付く・考える・予想する・工夫する・
自ら判断する・表現しようとする



こっちまで水
来てないよ！

いくよ〜！

あっ、逆流
している

つなぎ目の設計が
違うんだよね...

○共通の目的に向かって
繰り返される「試行錯誤」

☆考える・工夫する・自ら判断する

表現しようとする



敵はあそこだ！

その銃
カッコいいね

僕の銃は
頑丈だし
取っ手も
あるよ！

○互いのよさを認め合いながら
伸びゆく「協同性」

3歳児



大好きな先生との出会いが
幼稚園生活を楽しくさせる
思考力の芽生えの始まり♪



教師との信頼関係を基盤
に興味をもった遊びが
十分楽しめるようにする

4歳児



友達と遊ぶのが楽しくな
ってきた♪友達と関わる
から新しい遊びが閃く!!



友達と関わって思いを
伝え合える環境を構成
し教師がつなぐ

5歳児



自分達で遊びを進めるつ
て楽しい！3年間の経験
が自信に変わってゆく☆



子ども達が遊びを創造す
る姿を尊重・信頼しその姿
を支える

思考力の芽生えを育む保育について

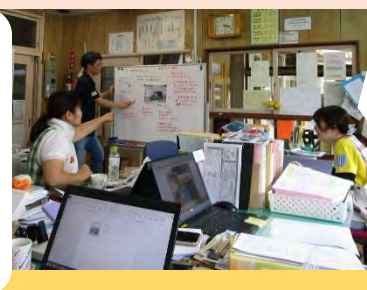
- ◎意図的（子ども達の興味関心・発達に即した環境の構成によって生み出された遊び）または、偶発的（遊びの中での発見・気付き・閃き）な遊びの場面から、
- ◎教師（教師間で）の視点で子ども達の思考力の芽生え（気付く・考える・予想する、他）につなげる姿を具体的に捉え、
- ◎ねらいに向けて必要と考えられる環境の構成及び教師の援助を見出し、遊びの状況に応じて実践する
- ◎振り返りを行う（評価と検証）
⇒この過程の繰り返し、自分の考えを深めより良いものにしようとする態度を育む



やりたい遊びが
できる！



遊びの中で「ここが
思考力の芽生え」と
教師が捉える！



思考力の芽生えを
教師間で具体的に
捉える☆

③ 幼小接続は何が大事？ 交流活動の実際

子ども達の思考力の芽生えを小学校に発信する過程において、小学校と共有したいキーワード

「何気ない交流」

～互いが身近な存在であること～

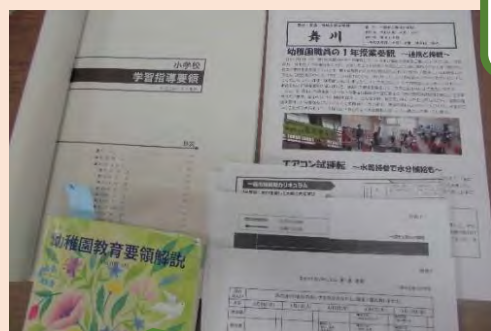
散歩の合間に授業見学をさせてもらう等、小学校へ
の興味や就学への期待が膨
らむような時間を設ける



子ども達が小学校の先生
と関われる機会を作る
← 校長先生の出張授業！

「互惠性のある交流」

～幼小共に恩恵のある交流を～



- ・ 幼小の要領をすり合わせる
- ・ スタートカリキュラムの理解
- ・ 小学校の通信から情報共有
互いの教育を理解する

小学校限定の通信を発行
子ども達の学び・
成長を発信する

アンケート調査の機会や、話し合
う場を設けながら、幼小の職員が
“思考力”について共通確認する
ための場をもった。

成果

・ 「思考力の芽生え」を手掛かりとして保育を評価・実践



遊びに没頭したり友達と協力して遊びを進めたりする等、
活動を展開する中でその子なりの主体性を発揮

・ 教師間で各学年の学びや
育ちを共有



必要な環境や援助の方向性、3年間における育ちの道筋、
小学校へのつながり等の意識化

・ 新たな情報発信（ドキュメンテーション
小学校限定の通信“舞LIFE”の発行）



幼稚園・小学校でのねらいについて相互理解の向上

・ 日常の保育における経験や
学びの豊かさ



スムーズな接続の土台は特別なことの実践ではなく
当たり前のことの積み重ね

誰と他園との交流から
大事だとも仲良く
☆ 経験が
大なる



保護者は行事等で、
子どもの育ちを実感し、
これからの成長に期待
を高めていく

課題

- ・ 発信や情報交換の在り方の吟味、及び幼小合同の研修の機会の実施
- ・ できたこと（技能・結果）だけでなく、それまでの過程（心の成長）を大切にしたい援助方法の共有
- ・ 小学校の願いやねらいをより明確に捉え、教育課程の見直し・改善を行い日々の保育に反映
- ・ スタートカリキュラムをより具体化する為、教務主任、1年生担任、年長担任で作成

